

平成 30 年度事業報告

〔事業活動〕

平成 30 年 3 月 20 日開催の理事会において承認を得た平成 30 年度事業計画に基づき各事業を推進している。その概要は以下のとおりである。

1 国際相互理解の促進

(1) 講演会、シンポジウム等の開催

ア 国際理解講演会等の開催

会員をはじめ道民の理解を促進するため、講演会を開催した。

「ハイエック設立 40 周年記念講演会」（設立 40 周年記念事業）

10月4日（木） 札幌市 札幌プリンスホテル国際館パミール 参加者約180名

「写真で伝える世界のこどもたち 紛争、災害の現場から」

フォトジャーナリスト 安田 菜津紀 氏

イ 北方圏講座の開催

北方圏諸国の産業経済や生活文化等に関する蓄積を学び、地域づくりについての情報交換を図るため他団体と連携し開催した。

第1回 6月27日（水） 旧北海道本庁舎（赤れんが庁舎） 参加者約90名

「カナダ最大の先住民族クリー族の生活と文化」（設立40周年記念事業）

クリー族親善訪問団長 バーティアー・ワパチー 氏

共催／カナダ先住民族クリー族特別講演会実行委員会、北海道、

（公財）アイヌ民族文化財団

第2回 11月27日（火） 札幌市 ホテルモントレエーデルホフ 参加者約60名

「日瑞国交樹立 150 年を振り返って」

駐日スウェーデン大使 マグヌス・ローバック 閣下

共催／北海道スウェーデン協会

第3回 2月27日（水） 札幌市 かでる 2・7 参加者約 60名

「2018 年における、日ロ協力の結果」

在札幌ロシア連邦総領事館領事 ロレスニク・ロマン 氏

共催／NPO 法人北海道日本ロシア協会

ウ 北太平洋地域研究事業（国際セミナー等の開催）

北東アジアの政治経済・外交に関係する重要テーマについて内外の研究者等を招き、セミナーを開催した。

① 国際情勢シンポジウム・セミナー

(i) 国際情勢セミナー「日ロ経済セミナー2018」

5月9日（水） 札幌市 北海商科大学 2 号館「多目的ホール」参加者 110 名

テーマ：「日ロの経済関係は進展したのか～2016 年 12 月の日ロ首脳会談後の日ロビジネスを検証する～」

<基調講演>

・ 「安倍・プーチン会談後の日ロ経済交流の進展と今後の展望」

静岡県立大学准教授 堀内 賢志 （北東アジア学理事）

- ・ 「現場から見た安倍・プーチン会談後の日ロ経済交流の進展と今後の展望」
ロシア NIS 貿易会ロシア経済研究所 調査部長 中居 孝文 氏
- ・ 「北方四島における共同経済活動について」
北海道総務部北方領土対策本部主幹 長崎 貴光 氏

〈ディスカッション〉

- コメンテーター 日露エコノミックスセンター（株）代表取締役 矢島 隆志 氏
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター特任助教 加藤 美保子 氏
- パネリスト 基調報告者 3 氏

共催/NPO 法人ロシア極東研、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

(ii) 第 8 回北海道で考える北東アジア国際情勢シンポジウム

2 月 28 日（木） 札幌市 ホテルポールスター札幌 参加者約 90 名
テーマ「トランプ政権の対外政策と北東アジアの国際関係」

〈基調講演〉

- ・ 「トランプ政権下の北東アジア情勢～朝鮮半島問題、安全保障問題を含む」
立命館大学国際関係学部副学部長・教授 中戸 祐夫 氏
- ・ 「中国から見たトランプ政権の北東アジアへの影響」
北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院教授 藤野 彰 氏
- ・ 「ロシアから見たトランプ政権の北東アジアへの影響」
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター特任助教 加藤 美保子 氏

② ロシアビジネスセミナー（設立 40 周年記念事業）

7 月 18 日（水） 函館市 サン・リフレ函館 参加者 43 名

- ・ 「日ロビジネスの概況」 ハイエック研究員 吉村 慎司
- ・ 「ロシアビジネスの実際」 北海道総合商事㈱ 営業部長 伊藤 彰浩 氏

共催/函館市

(2) 国際関係情報の収集・提供

ア 調査研究・資料収集事業

対外経済交流関係の各種事業に参画して調査・情報収集を行い、季刊誌 Hoppoken 等において成果を発表した。

① ロシア連邦シベリア地方との経済交流可能性調査

経済産業省北海道経済産業局からの委託を受け、IT など先端技術分野の研究機関・企業が集積するシベリア地方ノボシビルスク市及びクラスヤノスク市、オムスク市において、企業訪問を行うなどしてビジネス環境の調査を行い、3 月 15 日の「ロシアビジネスセミナー～シベリアビジネスに挑戦する」（北海道経済産業局・札幌市共催）においてその成果を報告した。

② モンゴルとの経済交流に関する調査研究

在札幌モンゴル国名誉領事館の呼びかけで設立された「北海道モンゴル経済交流促進調査会」の活動に参加し、本年 2 月札幌市で開催されたビジネスフォーラムにおいて、モンゴルとのビジネス交流について情報交換を行った。

イ 国際情報ネットワーク事業

インターネットを活用して国際交流等の情報を集約・蓄積し、広く道民などに提供した。特に、Facebook でハイエックなどの事業の実施予定を告知するとともに、ホームページに開設した「HIECC トピックス」コーナーなどで事業実施結果をタイムリーに紹介した。

ホームページアクセス数 4月～3月 月平均 3,100件

ウ 年報発行

2018年版を8月に発行し、会員や関係団体、市町村等へ配付した。

エ 国際協力情報収集提供事業

道内の国際協力活動などを紹介するため、国際協力情報紙「であい」を3回発行し、ホームページで公開した。

オ 季刊誌「Hoppoken(北方圏)」の発行

会員をはじめとした道民に、国際理解の促進に資する情報や、国際交流等の取組に関する情報を提供することを目的に、年3回、各1,200部発行した。

① 夏・秋号(183号)8月発行

- ・特集－「1億円の大旅行時代－中国人は何を求めて旅に出る」
世界第2の経済大国・中国の旅行人気の高まりなどを紹介。
- ・その他－ハイエック主催事業「北海道で考える北東アジア国際情勢セミナー『混迷する北東アジアの国際情勢～日本・中国・ロシアの安定政権下の朝鮮半島の非核化を考える』」の概要やハイエック平成30年度通常総会の開催結果などを掲載。

② 冬号(184号)12月発行(設立40周年記念事業)

- ハイエック40周年を記念しカラー特集「事業の歩み」及び年表で最近10年の主な事業を紹介。
- ・特集－「2018年総決算－ほほえみの北朝鮮」
中朝首脳会談、南北首脳会談、米朝首脳会議などそれまでの瀬戸際外交から一転しほほえみ外交に転換した動向などを紹介。
- ・その他－クラスノヤルスク、オムスク訪問記としてシベリアの地方都市についての記事など掲載。

③ 春号(185号)3月発行

- ・特集－「洞窟の13人を救え－タイ決死の救出作戦」
昨夏タイのチェンライの洞窟に取り残された13人のコーチ・少年の救出劇について詳報。
- ・その他－北海道経済産業局主催のノボシビルスクITミッションやハイエック主催事業「海外派遣事業(哈爾濱市、北京市)」の報告記事などを掲載。

(3) 海外派遣研修

ア 海外派遣事業(黒竜江省との青年交流事業)

中国への理解を深め、国際的な視点に立って地域づくりを進める人材を養成し、地域の国際化の促進に資するため、道内の青年を派遣した。

交流テーマは公募により「音楽」とし、哈爾濱音楽学院との交流演奏会の開催や、音楽関係施設等の視察・見学などを行った。

派遣期間：9月3日(月)～8日(土)

派遣先：中国(哈爾濱市、北京市)

参加者：団長(ハイエック)、札幌大谷大学7名(教授1名、学生6名)

イ 高校生・世界の架け橋養成事業

① 高校生パラオ派遣事業

世界の様々な人々と協働できる国際感覚を持った人材を育成するため、将来の北海道を担う高校生 8 名をパラオ共和国に派遣した。

派遣期間：8 月 19 日（日）～8 月 24 日（金） 派遣先：パラオ共和国

参加者：高校生 8 名

その他：事前研修 2 回、事後研修 2 回、報告会 7 回（学校、市民向け）

② ユース・エコ・フォーラム 2018

環境問題をテーマに北方圏諸国の若者と意見交換等を行うスキルを持った人材を育成するため、道内の高校生 2 名をユース・エコ・フォーラム 2018 に派遣した。

派遣期間：10 月 5 日（金）～13 日（土） 派遣先：ロヴァニエミ市／
フィンランド共和国

参加者：高校生 2 名

その他：事前研修 3 回、事後研修 3 回、報告会 1 回（市民向け）

③ 済州国際青少年フォーラム 2018

韓国・済州特別自治道と交流を深め、相互理解を図るため、同道が主催する青少年フォーラムに、道内の高校生 4 名を派遣した。

派遣期間：11 月 1 日（木）～ 5 日（月） 派遣先：韓国・済州特別自治道

参加者：高校生 4 名

その他：事前研修 3 回、事後研修 4 回、報告会 1 回（市民向け）

(4) 多文化共生の推進

ア 多文化共生ネットワーク連携推進協議会との連携

具体的な取組を進めるため、道内の国際交流団体間のネットワーク構築に取り組みとともに、協働して多文化共生の実現に資する事業を実施した。

① 多文化共生啓発事業

北海道の少子高齢化が全国を上回るスピードで進む中、外国人も地域社会を構成する一員として、地域の発展・活性化に資することや災害時に外国人が困ること、新たな外国人材の受入れ制度に関する理解促進を目的に講演会を開催した。

・7 月 19 日（木） 留萌市

多文化共生講演会 「外国人も暮らしやすい地域づくりのために」
（設立 40 周年記念事業）

講師：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

参加者 50 人

・2 月 20 日（水） 帯広市 （協力：十勝インターナショナル協会）

多文化共生講演会 「多文化共生時代の災害時対応 ～本格化する外国人受け入れ時代を迎えて」（設立 40 周年記念事業）

講師：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

参加者 59 人

② 多文化共生コーディネーター研修会

多文化共生社会の実現を目指すため、道内各地域で活動する様々な分野の事業担当者（コーディネーター）を対象に研修会を行った。

10 月 4 日（木） 旭川市 74 人 （協力：（一財）北海道国際交流センター）

イ 多文化共生の各種取組

道内各地域における外国人との共生に向けた環境づくりを一層進めるため、各種事業を実施した。

- ① 外国人観光客避難誘導訓練
北海道が実施した「北海道原子力防災訓練」において、事故発生後、倶知安町及びニセコ町の外国人宿泊客を、速やかに緊急時準備区域外へ退避させる訓練に参加した。
10月22日(月) 倶知安町、ニセコ町 参加者(外国人)49人
- ② 「北海道災害支援多言語サポーター」募集説明会
ハイエックの要請のもと、災害時における外国人支援が期待される「北海道災害支援多言語サポーター」の募集説明会を旭川で開催し、サポーターに期待される活動や実際の活動を体験するロールプレイを行った。
3月9日(土) 旭川市 参加者16人 (共催:旭川市国際交流委員会)
- ③ 世界の料理教室
料理を通じて諸外国の生活・文化について学び交流を深めるため、関係機関と共催のうえ実施した。
9月28日(金) 旭川市 参加者24人
(共催:日ロ文化協会「リャビーナ」の会)
- ④ 国際交流ボランティアの登録と派遣
登録ボランティア数 36人(昨年度42人) 派遣 3名
- ⑤ 北海道災害支援多言語サポーター登録事業
登録サポーター数 51人(昨年度46人)
- ⑥ 外国人サポートデスク
- ⑦ 留学生支援物品等登録事業
今年度登録数 6件(昨年度6件)

ウ 北海道多文化共生アワード(表彰事業)

本道在住の外国人と道民がともに地域の発展や活性化に貢献できる社会実現のため、人材育成、居住環境、防災、教育、地域づくりなどさまざまな分野において顕著な取組を行っている2団体を表彰した。

表彰団体(優秀賞) 北海道国際女性協会(札幌市)～日本語教育支援
NPO法人石狩国際交流協会(石狩市)～

在住外国人と地域住民の交流事業

表彰式 1月17日(木) 札幌プリンスホテル

2 国際交流の推進

(1) 諸外国との各種交流の実施

ア 日中青年交流事業(再掲:海外派遣事業)

中国黒竜江省との間で締結した「黒竜江省と北海道青年交流協定」(2008年)に基づき、音楽をテーマに、札幌大谷大学の教師及び学生を哈爾浜市に派遣し、哈爾浜音楽学院との交流演奏会の開催や、音楽関係施設の見学などを行った。

派遣期間:9月4日(火)～5日(水)

派遣者:団長(ハイエック)、札幌大谷大学7名(教授1名、学生6名)

イ 日韓交流事業

北海道と韓国との特色ある交流・協力を創出するため、高齢化社会に対応したローカルスポーツを韓国に紹介し、交流を行うこととしており、本年は、北海道ミニバレー協会の協力を得て慶尚南道を訪問し、現地のミニバレー関係者と交流を行った。

派遣期間 10月19日(金)～22日(月)

派遣団 12名(ハイエック、北海道ミニバレー協会など)

交流場所 慶尚南道（巨済市）

ウ 北海道青年訪問団韓国派遣事業

「生涯スポーツで街を元気に！地域づくり魅力発信事業」北海道青年派遣事業

（公財）日韓文化交流基金より委託を受け、北海道庁とハイエックが企画した事業として、北海道と友好提携にある韓国 4 地域へ北翔大学生を派遣し、本道発祥のスポーツの一つである「ミニバレー」を活用して北海道への理解を深めてもらうとともに、ホームステイや学生同士の交流を実施した。

受入期間 11月21日（水）～11月30日（金）

韓国青年訪問団 全22名（うち学生20名）

エ 北海道外国訪問団受入事業

南米からの北海道出身移住者子弟の訪問団を受け入れ、「父祖の地・北海道」について理解を深め、一層の友好親善に資するため、本道関係者との交流や道内企業の視察等を実施した。

受入期間 1月29日（火）～2月5日（火）

パラグアイ青年交流団 6名

オ ロシアとの音楽交流事業

公益社団法人国際音楽協会、北海道が日露の幅広い関係強化とさらなる地域間交流の拡大を図るため、ロシア欧露部より著名な音楽家らを招聘して開催した「日露交歓コンサート 2018 北海道公演」を支援するとともに、道内小学校、大学の訪問や道内音楽家らとの交流を行った（道委託事業）。

受入期間 9月16日（日）～19日（水） コンサートは9月18日

演奏者 7名

入場者数 交歓コンサート 374名、小学校訪問交流コンサート 約500名

カ ベトナムとの人材交流促進事業

北海道庁と連携し、北海道とベトナムとの人材交流を含めた経済交流の促進に関する事業を実施した。

① ベトナムとの経済人材交流促進会議への参画

道が設置した同会議に構成員として参画した。

（幹事会：7月18日、会議：8月30日、3月15日）

② ベトナムでのプロモーション（道委託事業）

ホーチミン市で開催された「北海道・ベトナム経済人材セミナー」及び「ジャパン・ベトナムフェスティバル」に参加し、現地の学生や教育関係者へ北海道の大学紹介及び留学受入のためのプロモーションを行った。（1月17日～20日）

③ 道内セミナー、交流会の開催（道委託事業）

道内企業を対象とした外国人材の受入にあたっての手続き等をテーマとしたセミナーの開催や、ベトナム人留学生と道内企業の人事採用担当者等との交流会を開催した（3月13日 ACU 読売北海道ビル）。

・外国人材採用支援セミナー 参加者：128名

・ベトナム人留学生と道内企業との交流会

参加者：ベトナム人留学生 27名、道内企業 16社

(2) 留学生と道民との交流

ア 外国人留学生国際交流支援事業

道内大学への外国人留学生受入れ促進を支援するため、外国人私費留学生に修学助成を行うとともに、助成金受給者を「留学生サポーター」として登録し、地域の交流事業への参加等を促進した。(修学助成 月額 1 万 5 千円、50 名)

イ 外国人留学生受入促進事業

外国人留学生の受入れを促進するため、海外の関係機関や大学・学生等に対し、道内大学のプロモーションを行った。

① プロモーションサイトの運営 (<http://study-hokkaido.com>)

② 留学ガイドブックの作成、配付

③ 日本留学フェア(日本学生支援機構主催)への参加

タイにおいて、学生等へのプロモーション及び北海道や大学関係資料を配付した。

・ 8 月 25 日(土) チェンマイ会場 ブース来場者約 170 名

・ 8 月 26 日(日) バンコク会場 ブース来場者約 250 名

④ 帰国者留学生向けメールマガジンの発行

帰国した外国人留学生に対し、北海道の今の様子や就職など各種情報を提供するメールマガジン「留学生サポーターだより」を発行し、本道への理解促進を図った。

(年 3 回)

ウ 留学生地域交流の実施

外国人留学生の北海道に対する理解を促進するとともに、地域住民との交流を推進するため、地域イベントへの参加や交流会を開催した。

北海道留学生ふれあい交流 in そらち (中島記念国際交流財団助成事業)

8 月 25 日(土) ~ 26 日(日) 沼田町、三笠市、月形町 参加留学生 26 名

(3) 海外移住者への支援

ア 移住者支援事業

① 北海道出身移住者などで組織する各道人会等の活動を支援するため、助成を行った。

ブラジル北海道文化福祉協会、在亜北海道人会、
全パラグアイ北海道人会連合会、サハリン道人会、
北海道海外移住家族会

② 2019 年に北海道人ブラジル移住 100 周年、ブラジル北海道文化福祉協会創立 80 周年を迎えることから、移住者をはじめブラジルに暮らす北海道と所縁のある方々などに郷土北海道を紹介する「北海道観光・物産紹介展」開催に向けての支援会が設立され、当センターも事務局として参画した。

運営会議 3 回 (12/14、1/11、3/5)

イ 移住者子弟留学生受入事業

南米圏交流を促進するため、北海道出身移住者の子弟を留学生として受け入れ、修学を支援した。

受 入 ブラジル 1 名

就学先 北海道大学大学院工学研究院

(4) 各種交流事業への助成

国際交流助成事業

世界各地域との交流を促進し、北海道の生活文化や産業経済の発展に寄与するため、道内の交流団体等が実施する各種交流事業に助成した。

平成 30 年度補助実績

助成対象事業名	主催者	助成額 (千円)
北海道 150 年事業 スウェーデン芸術祭 in 小樽 2018	同実行委員会	100
北海道陶芸会 50 周年記念 「陶・創造者たち」－ 北の大地と共に －	北海道陶芸会	200
第 2 回ユース管弦楽コンサート in 小樽 ～中央アジアの新星ヴァイオリストを迎えて～	ユース管弦楽団	100
日独交流の原点を考える 全国日独協会連合会設立 30 周年・森鷗外帰朝 130 周年記念シンポジウム	北海道日独協会	100
ジュニアジャズ国際交流事業 ジャズワークシ ョップ	公益財団法人札幌市芸術文化財団	200
台湾原声童声合唱団コンサート in 北海道 2018	同実行委員会	50
ソウルフレンドシップフェア「文化公演」	新芸能集団「乱拍子」	100
世界のこどもフェスティバル 2019 開催事業	世界のこども	200
計 8 事業		1,050

(5) 地域、諸団体との連携

ア 地域連携ネットワーク事業

各地域や交流団体間の連携を促進するため、国際交流・協力活動、外国人の受入れ状況等についての情報交換などを行う懇談会を開催した。

国際交流地域懇談会

2 月 20 日（水） 帯広市 参加者 17 人

イ 外国公館交流促進事業

在道の総領事館、領事館、通商事務所、名誉領事館等と連携し、地域の国際化を推進するための取組を実施した。

① 在北海道外国公館・通商事務所等協議会 総会

6 月 12 日（火） 札幌市 札幌プリンスホテル 国際館パミール

② 学校訪問事業

道内中学校・高等学校からの要請に基づき、在道外国公館の総領事等が学校を訪問し、生活・文化の紹介や交流事業を実施するなど、相互理解を深めた。

6 月 29 日（金） 厚真町立小中学校（厚真町教育委員会主催事業）

7 月 17 日（火）、19 日（木）、20 日（金） 札幌清田高等学校

8 月 31 日（火） 札幌藻岩高等学校

9 月 28 日（金） 立命館慶祥高等学校

10 月 24 日（水） 千歳高等学校

③ インターナショナルウィーク

在北海道外国公館・通商事務所等協議会を構成する外国公館及び名誉領事館等が連携し、各国の文化や歴史などについて、パネルや映像資料による展示・PR展、伝統舞踊や音楽演奏などの文化紹介パフォーマンスを行うとともに、道民の皆さんに外国公館を身近に感じてもらうため、各国の総領事などとの交流機会を設定し、異文化交流や国際理解の促進を図った。

展示・PR 11月14日(水)～16日(金) 札幌駅前通地下歩行空間
文化紹介パフォーマンス 11月14日(水)～16日(金) 〃
来場者数(延べ人数) 約13,000人

④ 新年交礼会

協議会の構成員である各国外国公館の総領事や名誉領事はもとより、北海道、札幌市をはじめとする官公庁、道内経済界や大学、報道機関、さらには国際交流・協力団体などの参加をいただき、「在北海道外国公館・通商事務所等協議会」主催による新年交礼会を開催した。

1月17日(水) 札幌プリンスホテル 国際館パミール 参加者67名
・主催者挨拶 大韓民国総領事館 総領事(協議会会長)
・来賓挨拶 北海道副知事、札幌市長
・新年の乾杯 北海道経済産業局長

ウ 他団体との連携による交流事業

① カルチャーナイト

カルチャーナイトに参加し、道民に「南米のあそび」や「世界の民族衣装試着」など諸外国の文化体験の機会を提供した

7月20日(金) ハイエック会議室ほか 来訪者 124人

② 全国中国語スピーチコンテスト北海道大会

10月14日(日) 札幌市 かでる2・7 北海道日中友好協会との共催

③ インターナショナルナイト

世界の青年の国際的なふれあいの場とするため、北海道青少年科学文化財団などと共催し、留学生と日本人学生等によるディスカッションや交流会を開催した。

12月16日(日) かでる2・7(主会場)

参加者 日本人239人、外国人29カ国82人

④ 国際交流「DAY」事業

北海道と姉妹・友好提携地域とのより一層の交流拡大を図るため、北海道と共催して、各提携記念日等にそれぞれの地域の文化紹介イベントを開催した。

アメリカ・ハワイ州	5月7日(月)～8日(火)
韓国・慶尚南道	6月7日(木)～8日(金)
中国・黒竜江省	6月14日(木)～15日(金)
カナダ・アルバータ州	9月5日(水)～6日(木)
韓国・ソウル特別市	10月18日(木)～19日(金)
ロシア・サハリン州	11月30日(金)
韓国・釜山広域市	12月13日(木)～14日(金)
韓国・済州特別自治道	2月9日(土)
アメリカ・マサチューセッツ州	2月7日(木)～8日(金)
タイ・チェンマイ県	2月25日(月)～27日(水)

⑤ 国際交流定例講演会

5回開催 5月18日(金)、6月18日(日)、7月26日(木)、11月20日(火)、
1月15日(火) 北海道国際女性協会との共催

⑥ 国際交流 in 積丹町

積丹町教育委員会からの依頼を受け、北大留学生や北海道海外技術研修員等の協力を募り同町内小中学校で開催された国際交流プログラムを支援した。

11月25日(日) 積丹町内各小中学校(小学校4校、中学校1校)

参加児童・生徒 101人、外国人 13人

⑦ ダーラナシンフォニエッタ招聘事業

日瑞外交関係樹立150周年を記念して、スウェーデン・ダーラナ地方を本拠地とするプロのオーケストラ(管弦楽団)「ダーラナシンフォニエッタ」を招聘する実行委員会に参画し、市民オーケストラとの合同演奏会や各種交流事業の実施を支援した。

9月20日(木)～23日(日) 札幌市、当別町ほか

来場者数 9/20 260人、9/23 623人(札幌コンサートホールKitara)

3 国際協力の推進

(1) 開発途上国向けのJICA研修事業への参画

JICA北海道国際センター(札幌)が実施する研修事業の一部を受託し、研修実施機関とのカリキュラムの調整や研修のコーディネートを行った。

期 間	研修コース名
4月19日～5月24日	課題別研修(道路維持管理(E))
6月1日～8月10日	課題別研修(上水道施設技術総合(B))
8月27日～9月28日	課題別研修(道路インフラマネジメントシステム)
11月12日～11月23日	国別研修(ユース・ジョブ・ワールド・コミュニティ開発計画策定能力強化)
1月10日～2月4日	課題別研修(サブサハラアフリカ地域地方教育強化)
4月6日～12月31日	草の根技術協力(ウランバートル市送配水機能改善協力)事業

(2) 海外からの研修員の受入

南米圏の北海道出身移住者の子弟を技術研修員として受け入れ、技術研修を行った。

受 入 2名(パラグアイ1、アルゼンチン1)

研修先 株式会社 日本旅行北海道

学校法人 北海道安達学園札幌マンガ・アニメ学院

4 ハイエック後援事業

	実施日	事業名	主催団体
1	6/4、6、8、12	第25回国際親善交流特別演奏会(日本・ブルガリア文化交流演奏会)	日本音楽文化交流協会
2	6/22～7/16	北海道陶芸会50周年記念「陶・創造者たち」- 北の大地と共に -	北海道陶芸会
3	7/27	第4回「北海道日中友好中国会ゴルフ大会」	北海道中国会
4	1) 当別展 9/1～30 2) 札幌展 10/13～11/18	35ar トレッティフェム・オールー日端 ガラス・木作品展	スウェーデン交流センター

	3) 東京展 12/4～19		
5	10/14	フィンランド料理講習会	北海道フィンランド協会
6	11/23～25	第 39 回 NHK 杯カーリング選手権大会	NHK 杯カーリング選手権大会実行委員会
7	12/5～7	第 34 回寒地技術シンポジウム	(一社) 北海道開発技術センター
8	12/8	TIEA プレゼンテーションコンテスト 2018 『国際田園都市 TAKIKAWA の 20 年後』～これからの国際田園都市～	(一社) 滝川国際交流協会
9	1/31	「国際シンポジウム」	北海道、(一財) 北海道建設技術センター
10	2/6～11	「第 60 回旭川冬まつり」	旭川冬まつり実行委員会
11	2/10	第 29 回おおたき国際スキーマラソン	おおたき国際スキーマラソン実行委員会
12	2/17～22	第 34 回北方圏国際シンポジウム	北方圏国際シンポジウム実行委員会
13	2/23～24	第 31 回昭和新山国際雪合戦	昭和新山国際雪合戦実行委員会

〔管理部門〕

1 会員の状況

平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月までの間においては、新規の加入が 21 件（個人会員 11 件、法人会員 10 件）、退会が 34 件（個人会員 15 件、法人等会員 19 件）あり、会員数は 13 の減となった。

区 分	平成30年度 当初会員数	平成30年度増減			平成30年度 末会員数	
		入会数	退会数	差引増減		
個人会員	一般会員	1 1 8	3	1 3	△ 1 0	1 0 8
	学生等会員	2	1	1	0	2
	主婦(夫)等会員	1	1	0	1	2
	シニア会員	2 2	6	0	6	2 8
	特別会員	5	0	1	△ 1	4
	個人会員計	1 4 8	1 1	1 5	△ 4	1 4 4
法人等会員	4 6 7	1 0	1 9	△ 9	4 5 8	
合 計	6 1 5	2 1	3 4	△ 1 3	6 0 2	

2 会議の開催

平成 30 年度の開催状況は次のとおり。

(1) 理事会

ア 平成 30 年度第 1 回理事会

平成 30 年 5 月 21 日(月) 13:30～ ホテル札幌ガーデンパレス

出席 理事総数 29 名のうち 18 名、監事 2 名のうち 2 名

内容 平成 29 年度事業報告を承認
平成 29 年度決算を承認
通常総会の招集を議決

イ 平成 30 年度第 2 回理事会

平成 30 年 6 月 20 日(水) 14:40～ 京王プラザホテル札幌

出席 理事総数 28 名のうち 16 名、監事 2 名のうち 1 名

内容 会長、副会長及び専務理事の選定
専務理事の報酬額を承認
顧問の委嘱を承認

新会長 佐藤 俊夫 ハイエック会長

新副会長 堰八 義博 北海道銀行代表取締役会長

中田 和子 北海道女性団体連絡協議会会長

柴田 龍 北洋銀行 取締役副会長

新副会長兼専務理事

越前 雅裕 ハイエック副会長兼専務理事

ウ 平成 30 年度第 3 回理事会

平成 31 年 3 月 25 日(月) 13:30～ ニューオータニイン札幌

出席 理事総数 28 名のうち 15 名、監事 2 名のうち 2 名

内容 2019 年度事業計画及び予算を承認
予算の補正に関する専決処分を承認
専務理事の報酬額を承認
顧問の委嘱を承認

新顧問 水島 徹治 北海道開発局長

(2) 総会

平成 30 年度通常総会

平成 30 年 6 月 20 日(水) 13:30～ 京王プラザホテル札幌

出席 会員総数 607 のうち 413 (出席 67、委任状出席 346)

内容 平成 29 年年度決算を承認
平成 29 年度事業報告を報告
平成 30 年度事業計画及び予算の理事会決定を報告
理事及び監事を選任 (理事 28 監事 2)
役員報酬等規程の改正を承認

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないため、作成しない。